

2024年度の事業計画

1 概要

2024年度は、「第二期愛知県図書館の基本的な運営方針（2023-2027）」の施策体系に基づき、別表の87事業を実施する。

2 数値目標

第二期基本的運営方針で設定した以下の9項目の数値目標に向けて取り組む。

| 目指すべき姿 | 2024年度の目標 | 備考 |
|-----------------------------|---|----------------------------------|
| 1 すべての県民の「知りたい」に応える図書館 | ● 蔵書検索アクセス数 2,100,000回 | |
| | ● 利用者の満足度 来館者アンケートでの「来館の目的が達成できた」が現状（2021年度：85.6%）を上回る | |
| 2 情報発信・交流活動の拠点としての図書館 | ● SNSの発信数と閲覧数 ・発信数 1,000件 ・閲覧数 900,000件 | |
| | ● 企画展示・イベントの実施回数 ・展示 50回 ・イベント 70回 | |
| 3 ネットワークのハブとなる図書館 | ● 県内図書館等への協力貸出冊数 16,000冊以上 | |
| | ● 市町村立図書館経由で貸出を利用する学校数 28校から34校以上に拡大 | 第二期基本的運営方針の目標：2027年度までに35校 |
| 4 デジタル技術の活用により新たな社会に対応する図書館 | ● 電子書籍へのアクセス件数 現状(2022年度上半期：5,541件)を上回る | |
| | ● デジタルアーカイブ公開数 1,147タイトル以上に拡大(※) | 第二期基本的運営方針の目標：2027年度までに1,140タイトル |
| 5 持続可能なサービス環境を備えた図書館 | ● 職員研修の受講者数 延べ500人以上 | |

(※)デジタルアーカイブ公開数

…2024年度は、公開中デジタルアーカイブを新システムに移行させるための準備を実施するため、目標を2023年度に達成した数値（1,147タイトル）以上とする。

2023年度末時点で、第二期基本的運営方針の目標値（2027年度までの目標）を超えているが、2025年度以降に上方修正を検討する。

3 主な事業内容

① 「すべての県民の「知りたい」に応える図書館」に向けた取組

- ・資料やサービス環境を整備し、利用者のニーズに応えるサービスを提供
- ・読書バリアフリー推進チームを中心に、読書に障害がある方に対する読書活動を推進（新規）

始め32事業

② 「情報発信・交流活動の拠点としての図書館」に向けた取組

- ・企画展示や講演会を開催し、県政の情報発信と所蔵資料の一層の利活用を促進
- ・SNS（Facebook、X（旧Twitter）、YouTube）による情報発信の充実
- ・話し合いができるグループ学習席など、人が集まり交流する明るい空間を提供

始め13事業

③ 「ネットワークのハブとなる図書館」に向けた取組

- ・県内市町村立図書館との資料搬送定期便を運行
- ・市町村立図書館等へ年間16,000冊以上の資料を協力貸出
- ・県図書館と市町村立図書館職員との人事交流を本格実施（新規）
- ・県立学校最寄りの市町村立図書館を経由した協力貸出の対象校を拡大
- ・東海北陸地区公共図書館研究集会を、集合形式のほか、オンライン形式を採用し、参加受講しやすいように開催（新規）

始め22事業

④ 「デジタル技術の活用により新たな社会に対応する図書館」に向けた取組

- ・公開中デジタルアーカイブを新システムに移行させるための準備を実施
- ・オンラインによる複写物の提供（公衆送信）サービスを開始（新規）
- ・図書館電算システムの更新に合わせ、Webサイトの利便性を向上（新規）
- ・図書館電算システムの次期システムへの更新を実施（新規）

始め8事業

⑤ 「持続可能なサービス環境を備えた図書館」に向けた取組

- ・県の拠点図書館としての役割について理解を深め、司書職員の専門性の向上、育成を図る館内研修を実施
- ・2027年度から実施予定の長寿命化改修工事について、基本設計の予算を確保するため、関係各課と連携（新規）

始め12事業